

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「ゴールドマン・サックス 米国REITファンド A
コース/Bコース」は、このたび、第190期～第195期の
決算を行いました。本ファンドは、米国のリートを主要
投資対象として、高水準の配当収益の獲得を図りつ
つ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を
めざして運用を行っております。今期の運用経過等
について、以下のとおりご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し
上げます。

A コ ー ス	第195期末(2020年4月23日)	第190期～第195期		
	基準価額	2,252円	騰落率	-31.65%
	純資産総額	10,552百万円	分配金合計	55円
B コ ー ス	第195期末(2020年4月23日)	第190期～第195期		
	基準価額	1,597円	騰落率	-31.91%
	純資産総額	75,179百万円	分配金合計	110円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



交付運用報告書

ゴールドマン・サックス 米国REITファンド

愛称：コロブスの卵

Aコース(毎月分配型、為替ヘッジあり)
Bコース(毎月分配型、為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／不動産投信

第190期(決算日2019年11月25日)
第191期(決算日2019年12月23日)
第192期(決算日2020年1月23日)
第193期(決算日2020年2月25日)
第194期(決算日2020年3月23日)
第195期(決算日2020年4月23日)

作成対象期間：2019年10月24日～2020年4月23日

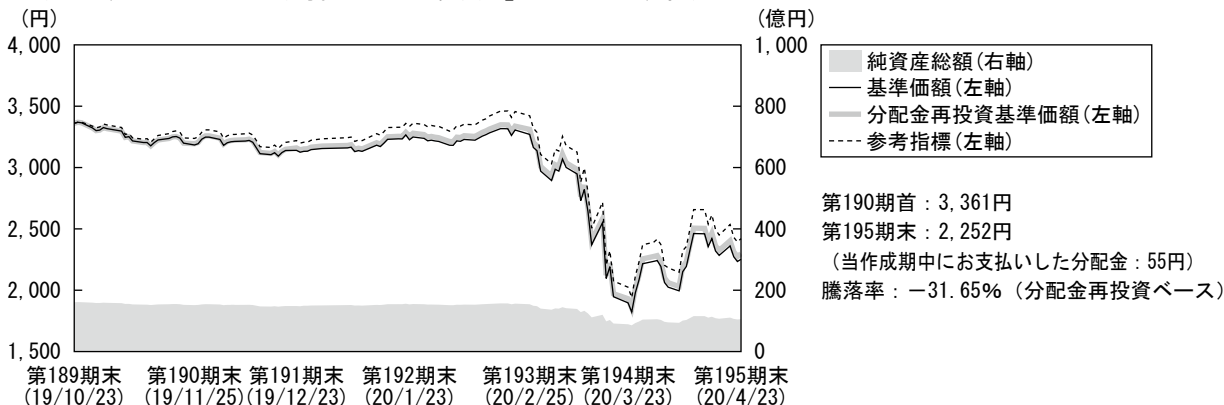
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先：03-6437-6000(代表)
受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

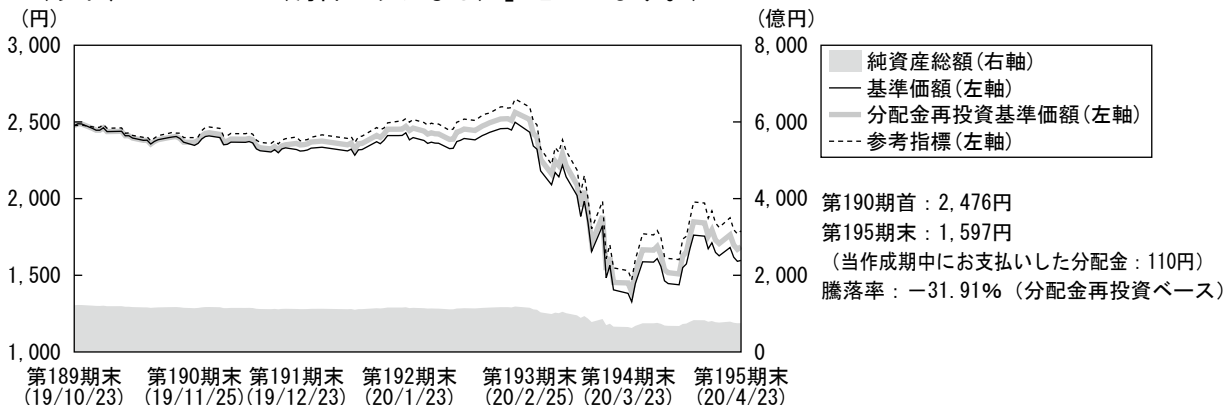
運用経過

■ 基準価額等の推移について（2019年10月24日～2020年4月23日）

○ゴールドマン・サックス 米国REITファンドAコース（毎月分配型、為替ヘッジあり）
（以下、「Aコース（為替ヘッジあり）」といいます。）



○ゴールドマン・サックス 米国REITファンドBコース（毎月分配型、為替ヘッジなし）
（以下、「Bコース（為替ヘッジなし）」といいます。）



(注1) 参考指標は、Aコース（為替ヘッジあり）はMSCI米国REITインデックス（円ヘッジ・ベース）、Bコース（為替ヘッジなし）はMSCI米国REITインデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注4) 分配金再投資基準価額、参考指標は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

- Aコース（為替ヘッジあり）の基準価額は、期首の3,361円から1,109円下落し、期末には2,252円となりました。
 - Bコース（為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の2,476円から879円下落し、期末には1,597円となりました。
- （以下、2ファンドを総称して本ファンドといたします。）

上昇要因

デジタル・リアルティ・トラスト、アメリカン・タワーが保有期間中に上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米国リート市場（米ドルベース）が大幅に下落したことや、サイモン・プロパティーズ・グループ、ベントラスが保有期間中に下落したこと、分配金をお支払いしたことなどが基準価額の下落要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

○Aコース（為替ヘッジあり）

項目	第190期～第195期		項目の概要
	2019年10月24日～2020年4月23日		
	金額	比率	
信託報酬 （投信会社）	24円 (12)	0.786% (0.413)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価
（販売会社）	(10)	(0.330)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価
（受託会社）	(1)	(0.044)	ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料 （投資信託証券）	1 (1)	0.019 (0.019)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 （投資信託証券）	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 （保管費用）	0 (0)	0.009 (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用
（監査費用）	(0)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	25	0.814	

期中の平均基準価額は3,025円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

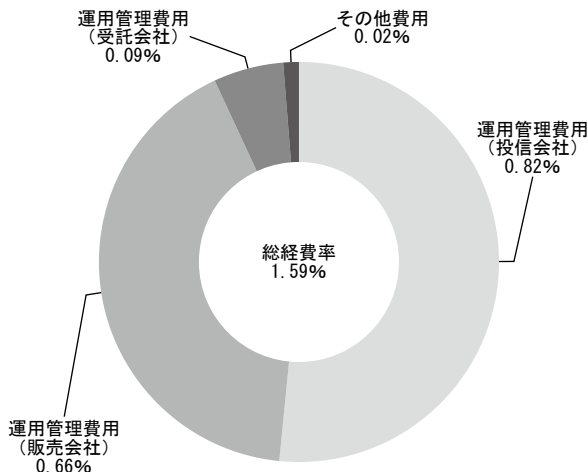
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.59%です。



(注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

○Bコース（為替ヘッジなし）

項目	第190期～第195期		項目の概要
	2019年10月24日～2020年4月23日		
	金額	比率	
信託報酬 （投信会社）	18円 （ 9）	0.786% (0.413)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価
（販売会社）	（ 7）	(0.330)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価
（受託会社）	（ 1）	(0.044)	ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料 （投資信託証券）	0 （ 0）	0.018 (0.018)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 （投資信託証券）	0 （ 0）	0.000 (0.000)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 （保管費用）	0 （ 0）	0.005 (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用
（監査費用）	（ 0）	(0.002)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（ 0）	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	18	0.809	

期中の平均基準価額は2,226円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

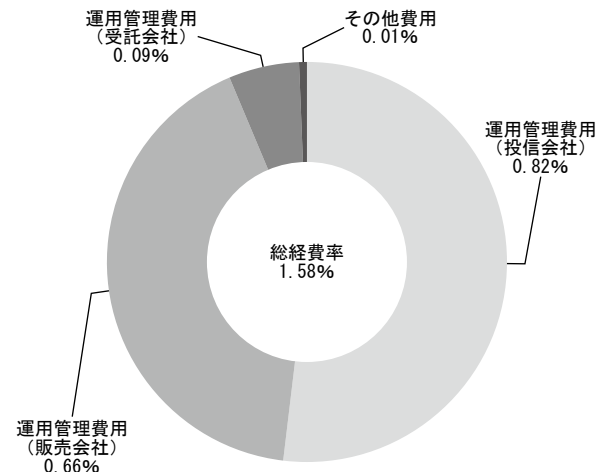
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



(注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

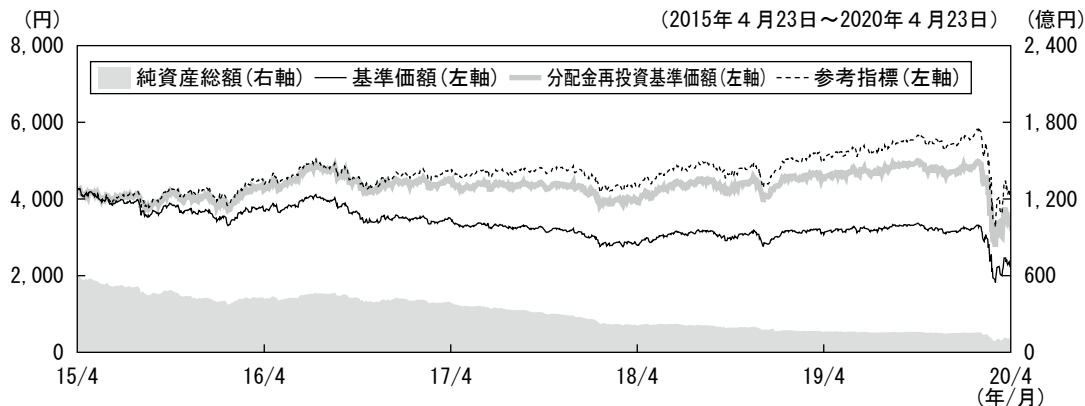
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

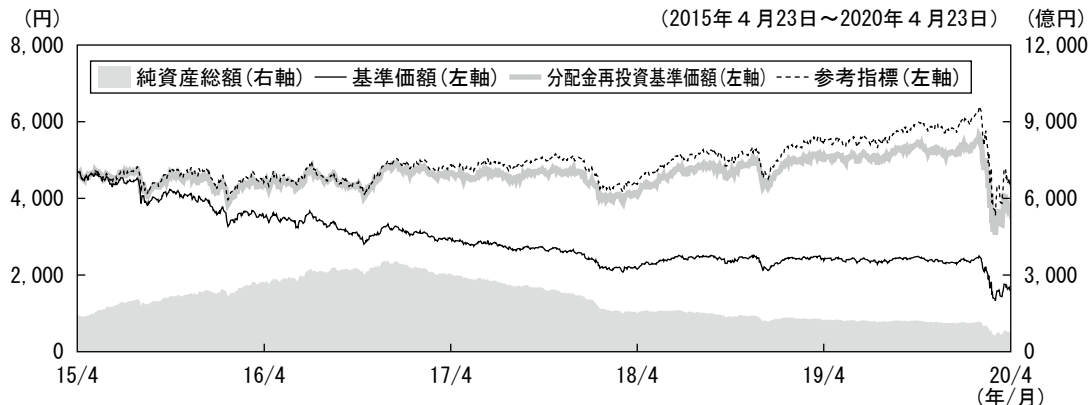
(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移について

○Aコース（為替ヘッジあり）



○Bコース（為替ヘッジなし）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、2015年4月23日の基準価額を起点として指数化しています。

■ 最近5年間の年間騰落率

○Aコース（為替ヘッジあり）

	2015/4/23 決算日	2016/4/25 決算日	2017/4/24 決算日	2018/4/23 決算日	2019/4/23 決算日	2020/4/23 決算日
基準価額（分配落）（円）	4,249	3,682	3,461	2,792	3,071	2,252
期間分配金合計（税引前）（円）	—	555	420	240	120	115
分配金再投資基準価額騰落率	—	0.34%	5.41%	-12.99%	14.42%	-23.80%
参考指標騰落率	—	3.89%	8.03%	-10.02%	16.46%	-18.58%
純資産総額（百万円）	59,322	41,841	38,842	21,077	15,886	10,552

○Bコース（為替ヘッジなし）

	2015/4/23 決算日	2016/4/25 決算日	2017/4/24 決算日	2018/4/23 決算日	2019/4/23 決算日	2020/4/23 決算日
基準価額（分配落）（円）	4,700	3,514	2,926	2,152	2,374	1,597
期間分配金合計（税引前）（円）	—	900	780	440	240	230
分配金再投資基準価額騰落率	—	-6.40%	6.10%	-12.93%	22.06%	-25.36%
参考指標騰落率	—	-3.85%	7.91%	-10.51%	23.68%	-19.85%
純資産総額（百万円）	141,888	271,875	301,851	151,934	122,577	75,179

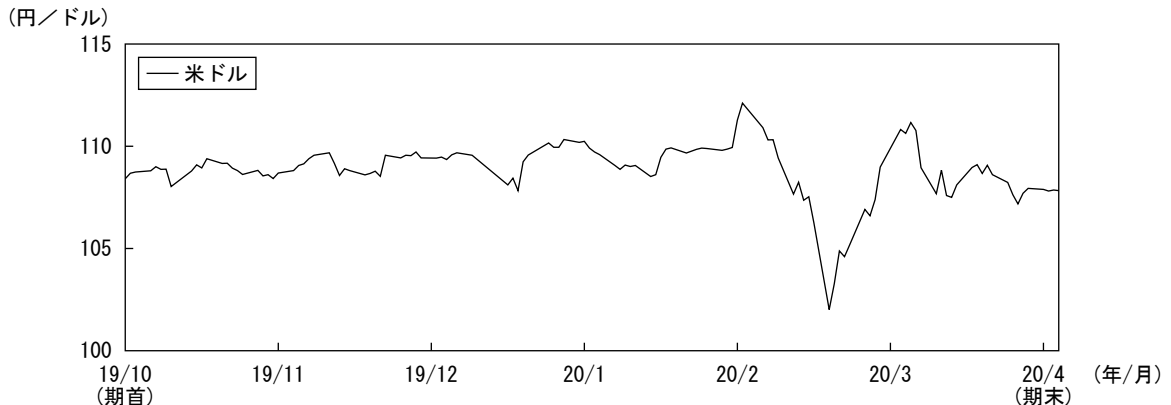
■ 投資環境について

<米国リート市場>

米国リート市場は大幅に下落しました。期初から2020年2月中旬までは、米中通商協議の進展などを背景に、米国の長期金利が上昇した局面などで下落した一方、米国における概ね堅調な企業業績や経済指標などを背景に上昇する局面もあるなど、一進一退の推移となりました。2月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染が中国をはじめとするアジアから中東や欧州にも拡大し、世界的に経済活動を制限する動きが加速したことや、OPEC（石油輸出国機構）加盟国およびロシアなど非加盟国が追加減産で合意出来なかったことなどから供給過剰懸念が高まり、原油価格が急落したことなどを背景に、景気減速懸念が強まり、リート市場は急落しました。3月下旬以降は、FRB（米連邦準備制度理事会）による無期限の量的緩和策や追加の信用供給、政府による大規模な景気対策、欧米において新型コロナウイルスの感染拡大にピークアウトの兆しが見られたことなどから、リート市場は反発したものの、期を通じては大幅に下落する結果となりました。

<外国為替市場>

外国為替市場では米ドルに対して若干円高が進みました。



■ ポートフォリオについて

<本ファンド>

本ファンドは米国REITマザーファンドを概ね高位に組入れ、米国のリートを実質的な主要投資対象とし、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。また、Aコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざしました。

<本マザーファンド>

当期中の主なポジションとしては、有利な不動産の賃貸借条件のビジネスモデルを有するなど利回りの高いセクターをオーバーウェイトとしました。一方で、比較的利回りの低いセクターをアンダーウェイトとしました。また、安定的な配当利回りを維持するため、比較的利回りの高い優先証券の組入れを継続しました。

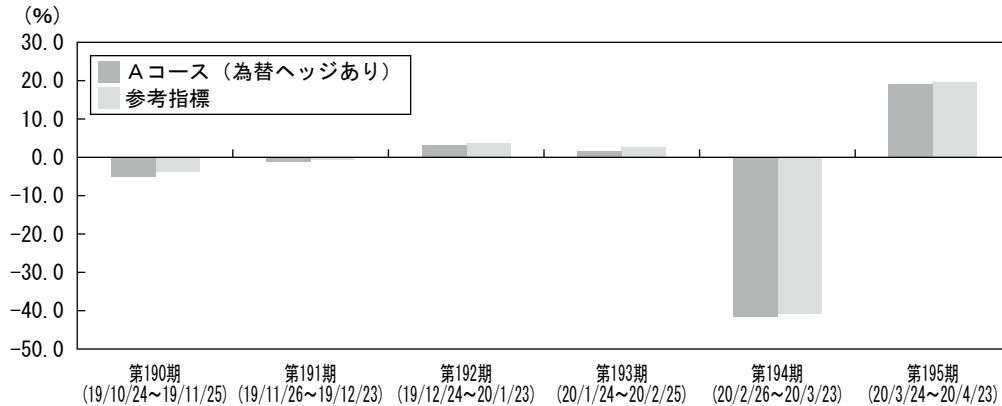
当期において、デジタル・リアルティ・トラストやアメリカン・タワーが保有期間中に上昇したことなどがプラス寄与となりました。一方、サイモン・プロパティ・グループやベンタスが保有期間中に下落したことなどがマイナス寄与となりました。

■ ベンチマークとの差異について

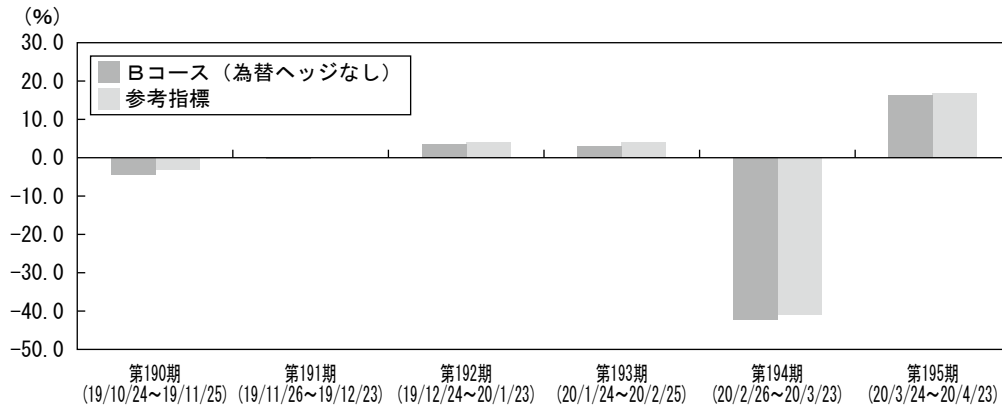
本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

< 当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率） >

○ Aコース（為替ヘッジあり）



○ Bコース（為替ヘッジなし）



(注) 各コースの基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期のAコース（為替ヘッジあり）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は-31.65%となった一方、参考指標のパフォーマンスは-27.99%となりました。Bコース（為替ヘッジなし）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は-31.91%となった一方、参考指標のパフォーマンスは-27.73%となりました。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、当期は、Aコース（為替ヘッジあり）は第190期から194期は各10円、第195期は5円としました。Bコース（為替ヘッジなし）は第190期から194期は各20円、第195期は10円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

○Aコース（為替ヘッジあり）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第190期	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期
	2019年10月24日 ～2019年11月25日	2019年11月26日 ～2019年12月23日	2019年12月24日 ～2020年1月23日	2020年1月24日 ～2020年2月25日	2020年2月26日 ～2020年3月23日	2020年3月24日 ～2020年4月23日
当期分配金	10	10	10	10	10	5
（対基準価額比率）	0.313	0.317	0.309	0.305	0.524	0.222
当期の収益	—	4	7	10	3	5
当期の収益以外	10	5	2	—	6	—
翌期繰越分配対象額	214	208	206	209	203	216

○Bコース（為替ヘッジなし）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第190期	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期
	2019年10月24日 ～2019年11月25日	2019年11月26日 ～2019年12月23日	2019年12月24日 ～2020年1月23日	2020年1月24日 ～2020年2月25日	2020年2月26日 ～2020年3月23日	2020年3月24日 ～2020年4月23日
当期分配金	20	20	20	20	20	10
（対基準価額比率）	0.845	0.855	0.832	0.815	1.427	0.622
当期の収益	—	3	5	20	2	10
当期の収益以外	20	16	14	—	17	—
翌期繰越分配対象額	1,873	1,856	1,842	1,851	1,834	1,836

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<本ファンド>

引き続き本マザーファンド受益証券を概ね高位に組入れ、米国のリートを実質的な主要投資対象とし、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、Aコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざします。

<本マザーファンド>

米国リート市場において、当社では需給や資本調達環境などを注視しています。足元、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、景気の先行きが不安視され、株式市場全体と同様に米国リート市場は大幅に下落しました。その後いったん反発したものの、まだボラティリティが上昇する局面も見られ、不確実性の高い環境が続いています。これを受け、FRBは金融緩和を拡大し、米国政府も財政政策を打ち出すことを表明しています。すでに企業の業績下方修正の発表が見られ、今後も業績の下振れリスクは継続すると思われませんが、一方で、現在の状況が今後長期に渡って継続するとは想定しづらく、明確な時期は判断しづらいものの、政府の政策支援もあり、いずれは経済活動が再開され回復する可能性があると考えています。足元では、資金調達環境の悪化も一部では懸念されていますが、経済活動が再開し正常化された段階においては、中央銀行による政策金利の引き下げにより、資金調達環境への懸念は低下していくと見ています。当社では、中長期的には、相対的に高い配当利回り、成長性の高さ、分散効果、インフレ・ヘッジなどの利点から、リートは引き続き魅力的な投資対象であると考えます。ポートフォリオ構築の観点からは、バランスシートが良好で、強固なビジネスモデルを持ち、質の高い資産を保有し、優秀な経営陣を擁する企業に焦点を当てて投資します。

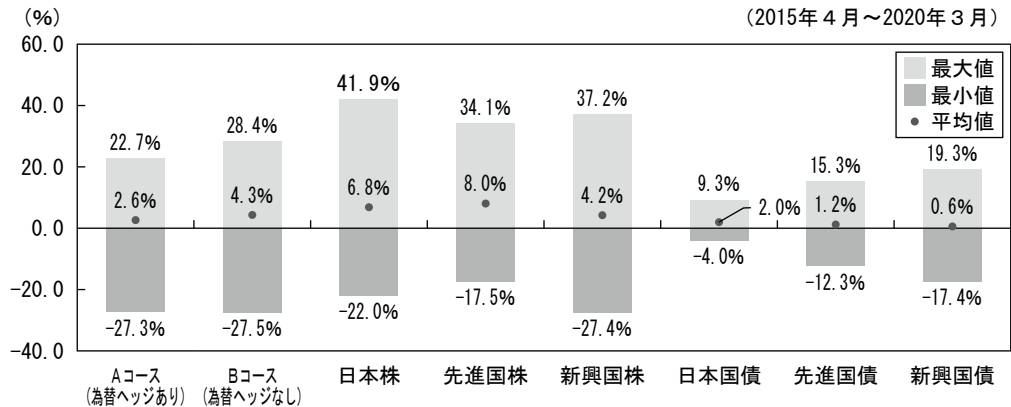
（上記見通しは2020年4月23日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	原則として無期限
運用方針	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場（NASDAQ）において取引されているREIT（不動産投資信託）への分散投資を通じた、高水準のインカム・ゲインの獲得と長期的な元本の成長によって、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	
本ファンド	米国REITマザーファンドの受益証券
米国REITマザーファンド	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場（NASDAQ）において取引されているREIT（不動産投資信託）
運用方法・組入制限	<p>①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。</p> <p>②実質外貨建資産については、Aコースでは、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とし、Bコースでは、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>③本ファンド及びマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券および短期金融商品以外の有価証券への直接投資は行いません。 ・外貨建資産への投資については、特に制限を設けません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎月23日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2015年4月から2020年3月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容 (2020年4月23日現在)

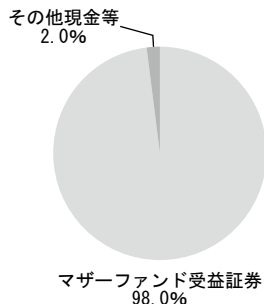
< Aコース (為替ヘッジあり) >

○ 組入れファンド

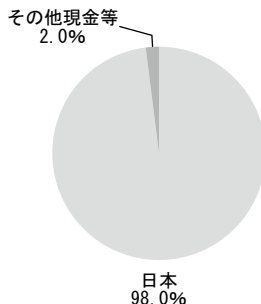
(組入銘柄数 : 1 銘柄)

ファンド名	比率
米国REITマザーファンド	98.0%

○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



(注) 上記の比率は全てAコース (為替ヘッジあり) の純資産総額に対する割合です。

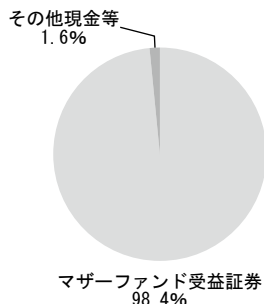
< Bコース (為替ヘッジなし) >

○ 組入れファンド

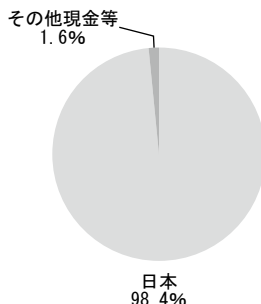
(組入銘柄数 : 1 銘柄)

ファンド名	比率
米国REITマザーファンド	98.4%

○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



(注) 上記の比率は全てBコース (為替ヘッジなし) の純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

○Aコース（為替ヘッジあり）

項目	第190期末	第191期末	第192期末	第193期末	第194期末	第195期末
	2019年11月25日	2019年12月23日	2020年1月23日	2020年2月25日	2020年3月23日	2020年4月23日
純資産総額	15,143,864,782円	14,842,875,794円	15,384,143,506円	15,431,575,272円	8,904,314,952円	10,552,652,516円
受益権総口数	47,558,146,484口	47,264,358,557口	47,694,462,806口	47,196,035,418口	46,942,343,480口	46,868,980,703口
1万口当たり基準価額	3,184円	3,140円	3,226円	3,270円	1,897円	2,252円

(注) 当作成期首元本額は47,872,488,036円、当作成期間（第190期～第195期）中において、追加設定元本額は2,188,237,806円、同解約元本額は3,191,745,139円です。

○Bコース（為替ヘッジなし）

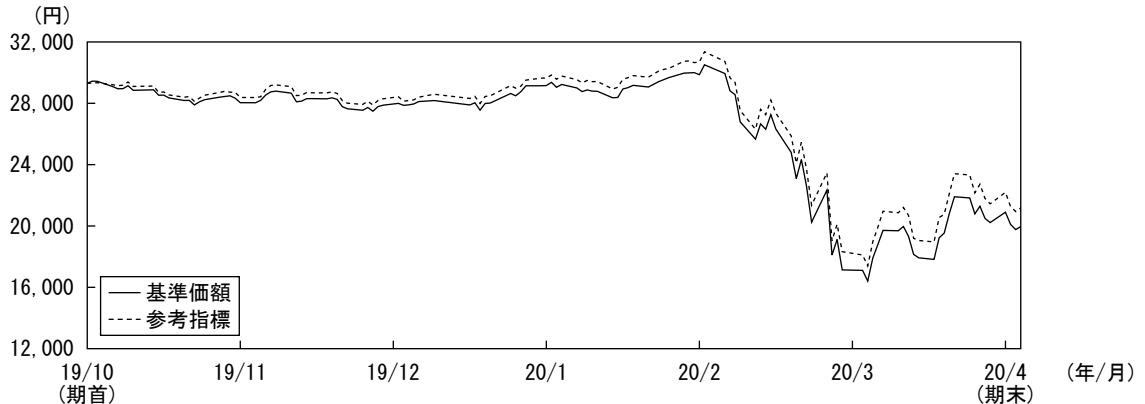
項目	第190期末	第191期末	第192期末	第193期末	第194期末	第195期末
	2019年11月25日	2019年12月23日	2020年1月23日	2020年2月25日	2020年3月23日	2020年4月23日
純資産総額	114,150,957,976円	112,121,402,777円	114,316,892,633円	115,347,479,184円	64,994,977,714円	75,179,741,501円
受益権総口数	486,371,059,841口	483,225,409,777口	479,737,480,464口	474,183,200,996口	470,218,436,549口	470,854,293,853口
1万口当たり基準価額	2,347円	2,320円	2,383円	2,433円	1,382円	1,597円

(注) 当作成期首元本額は492,437,560,522円、当作成期間（第190期～第195期）中において、追加設定元本額は18,207,877,004円、同解約元本額は39,791,143,673円です。

■ 組入上位ファンドの概要

米国REITマザーファンド（2020年4月23日現在）

○ 基準価額等の推移について（2019年10月24日～2020年4月23日）



(注1) 基準価額等の推移については組入れファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 参考指標はMSCI米国REITインデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

(注3) 参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

○ 1万口当たりの費用明細

項目	
売買委託手数料 (投資信託証券)	5円 (5)
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)
その他費用 (保管費用)	0 (0)
合計	5

(注1) 1万口当たりの費用明細は組入れファンドの直近の計算期間のものです。

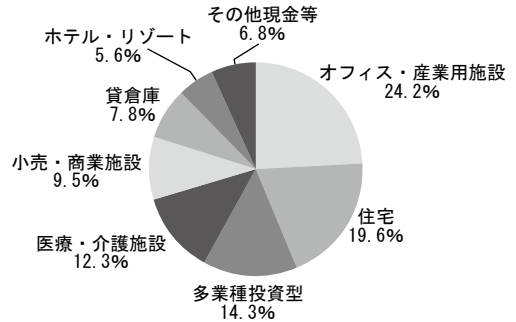
(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については3ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

○組入上位10銘柄

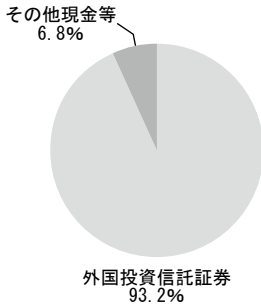
(組入銘柄数：42銘柄)

	銘柄	国	業種	比率
1	プロロジス	アメリカ	オフィス・産業用施設	9.6%
2	エクイティ・レジデンシャル	アメリカ	住宅	6.9%
3	アパロンベイ・コミュニティーズ	アメリカ	住宅	6.1%
4	パブリック・ストレージ	アメリカ	貸倉庫	5.5%
5	ヘルスピーク・プロパティーズ	アメリカ	医療・介護施設	4.8%
6	カムデン・プロパティートラスト	アメリカ	住宅	4.6%
7	アレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズ	アメリカ	オフィス・産業用施設	4.6%
8	デューク・リアルティ	アメリカ	多業種投資型	4.3%
9	ポストン・プロパティーズ	アメリカ	オフィス・産業用施設	3.6%
10	サイラスワン	アメリカ	オフィス・産業用施設	3.4%

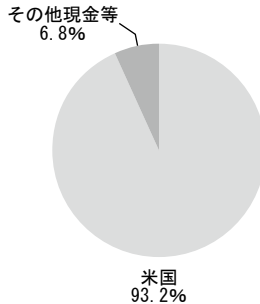
○業種別配分



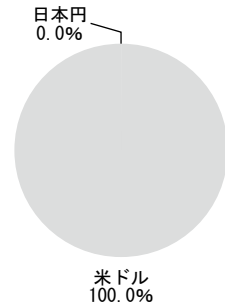
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入上位10銘柄、業種別配分、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは組入れファンドの直近の決算日時点のものです。

(注2) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。